

流通経済研究所セミナー

これからの 消費と流通 2027

— 市場変化の先を読む —

～生活者・売場・小売・商品開発の変化から探る、
食品・日用品市場の次の成長機会～

変化を捉え、
次の成長へ。



市場を読む。

生活者・売場・小売の
変化から、これからの
市場を見通す視点



成長機会を探る。

消費・流通・商品開発の
変化から、新たな商品・
市場機会を発見する知見



次の一手を考える。

研究成果とデータから、
商品・営業・マーケティングの
戦略を考えるための示唆

このような方におすすめ

- ✓ 食品・日用品関連企業の営業、営業推進、営業企画、マーケティング部門の部課長、ご担当者など
- ✓ 2027年に向けた消費・流通・売場の変化を把握し、事業・営業戦略・計画に活かしたい方
- ✓ 得意先への提案テーマや商品開発の方向性等を検討している方



2026年10月27日(火)
13:30～17:00



会場

リアル会場 & オンライン配信
(Zoom・ウェビナー)

市ヶ谷近郊の会場を予定



参加費
1名様 20,000円(税抜)

セミナー開催の目的

食品・日用品市場を取り巻く環境は、生活者の価値観や購買行動、売場・小売業態、価格構造、商品開発など、様々な側面で大きく変化しています。

本セミナーでは、流通経済研究所が今期取り組んできた研究成果をもとに、「生活者・売場・小売・商品開発」の変化を多面的に捉え、これからの市場を展望します。

さらに、変化の先にある食品・日用品市場の次なる成長機会を見出し、企業の戦略やマーケティングに活かすための視点と示唆を提示いたします。

お申込み・詳細はこちら ▶



お問い合わせ

担当：伊藤、荒瀬、緒方

TEL：03-5213-4532

▶ プログラム

※プログラム・登壇者は変更となる場合がございます。

時 間	テーマ・内容	登壇者
13:30～13:35	開会挨拶	山崎 泰弘 理事
13:35～14:15	<生活者> 消費者の買い物行動はどう変わっているのか 「消費者の買い物先の実態と最近のトレンド」 (消費者パネルデータや意識調査より)	池田 満寿次 上席研究員
14:15～14:55	<市場> 食品・日用品市場の次の成長機会はどこにあるのか 「食品・日用品市場の次の成長機会」 ～ 変わる生活者・売場・小売業を読み解く ～	山崎 泰弘 理事
14:55～15:05	休憩	—
15:05～15:45	<価格> 物価・価格転嫁・制度変更は消費にどう影響するのか 「物価、価格転嫁の状況と飲食料品の消費税率2年限定引き下げへの対応」	根本 重之 理事
15:45～16:25	<小売(ドラッグストア)> ドラッグストアを中心に、小売りはどう変わるのか 「ドラッグストア:『食品』強化トレンドの“次”を考える」 — 業態革新と生き残り戦略、営業提案の方向性 —	重富 貴子 主任研究員
16:25～16:55	<商品> 変化する生活者ニーズやインサイトに、商品開発はどう応えるのか 「飲食料品の商品開発潮流を捉える」	緒方 務 流通・店頭部門長
16:55～17:00	総括・閉会挨拶	緒方 務 流通・店頭部門長

▶ 登壇者プロフィール



池田 満寿次
いけだ ますじ
〈主な研究領域〉
・小売・流通動向
・小売業を中心とした企業分析
・個人消費や消費者心理、およびマーケティングに関する研究
※ 日本証券アナリスト協会 認定アナリスト



山崎 泰弘
やまざき やすひろ
〈主な研究領域〉
・業態研究 (SM、CVS、DGS、EC)
・POS/ID-POS分析
・協働マーチャндаイジング研究
・リテールマーケティング研究
・消費者行動研究



根本 重之
ねもと しげゆき
拓殖大学名誉教授
〈主な研究領域〉
・流通産業研究



重富 貴子
しげどみ たかこ
〈主な研究領域〉
・ドラッグストア業界の動向、ドラッグストアチェーンの企業戦略に関する研究
・消費者意識や価値観に関するリサーチ
・欧米主要小売業の動向および、業態の変化に関する調査研究



緒方 務
おがた つとむ
〈主な研究領域〉
・酒類・食品を中心とした商品開発のトレンドや市場アプローチの研究
・イベントマーケティングKFSの研究

本セミナーの最新情報・お申込みは、
流通経済研究所のウェブサイトをご覧ください。

https://www.dei.or.jp/project/outlook_2027/index.php

お申込み・詳細はこちら▶

